

2 0 2 5 年 度 事 業 報 告 書

NPO法人しぶたね

I 事業期間

2025年4月1日から2026年3月31日まで

II 事業の成果

今年度は、きょうだいさんと過ごす活動の比重がまた少し増え、各地域からしぶたねとつながってくれているきょうだいさん同士のつながりも深まる場面が出てくる1年となった。

特に、北海道のそらぶちキッズキャンプとのきょうだいキャンプ実現が大きな転機となった。オンラインでつながっていたきょうだいさん同士が、実際に会い、特別な時間を共にするという経験が、その後の活動にもよい影響をもたらしている。いろんな団体や企業とつながってきたことが功を奏し、きょうだいさん同士が会える機会に恵まれたのも幸運だった。昨年度から復活した病院活動については、コロナ禍を経て変化した環境の中、夜に廊下で待つきょうだいさんが激減しており、持ち帰ることのできるメダルを置いておくなど工夫はしてるが、活動のあり方を検討していく必要性を感じている。

TSURUMI こどもホスピスとの連携は2年目となったが、週1回のケア会議の中でもきょうだいさんの話題が上がることも確実に増えている。スタッフ向けには、シブリングサポーター研修ワークショップやシブパネルを活用くださり、きょうだいさん向けイベントも継続くださるとともに、今年度は保護者さん向けにきょうだいをテーマとした交流会も自ら発案、実施された。

啓発事業については、講演回数は昨年度から大幅に減少、イベントや学会等での出展はほぼ横ばいとなった。シブリングサポーター研修ワークショップも、回数、人数ともに減少して、11回の開催、修了者258名、今年度末現在での全国のシブリングサポーターは2,875名となった。シブパネルは、2回開催することができ、その内1回はTSURUMI こどもホスピスのスタッフ研修という新たな形での開催となった。シブリングサポーターミーティングは、今年度もオンライン開催となったが、バイスタンダーという新しいテーマでのお話を伺うことができ、交流タイムも「時間が足りない」とアンケートで回答されるほど活発なものとなった。きょうだい支援ゆるゆるカフェについては、3月以外の全ての奇数月で5回開催でき、新たなつながりの機会ともなっている。

4月10日の「きょうだいの日」には、オリジナルあめちゃんとラムネの両方を作成。当日に向けて各地域の団体を通じてきょうだいさんに配布してもらうと共に、講演やブース出展の際にも配布し、年間を通じて普及活動に努めた。SNSでの発信については、昨年と同様に各団体で自由に行い、互いにリポストする形とし、今年はXでのトレンド入りを果たすことができた。一般社会への定着はまだまだ緩やかなところだが、きょうだいさんや支援団体の間では大切にされながら広がり、思い思いに過ごしたり、イベントを開催したりと盛り上がりを見せている。来年度に向けても、おかしの配布やメッセージ発信の準備を進めており、急速ではなくても大切に広げていきたい。

事務体制については、講演活動の減少がありながらも、遠方への出張が多いこと、月2回の病院活動の継続もあって、逼迫した状況の改善には至っていない。クリスマスやシブリングデーなど大きな作業の際にはボランティアさんやSNSでのお願いに応えてくれた方々のお力を借りるなど取り組みは続けているので、引き続き改善を図っていきたい。

Ⅲ 事業の実施状況

1. きょうだいサポート事業

(1) きょうだいのためのワークショップ「きょうだいさんの日」の開催

【内 容】 きょうだいに集ってもらい、安心して過ごせる空気の中であそんだり、おやつをみんなで食べたり、親子でふれ合うなどのワークショップを行った。毎週金曜日のオンラインミニ企画「シブレットのへやのとびら あけておくね」も継続しており、今年度は52回実施、累計で324回の開催となった。

【実施時期・場所・参加きょうだい人数】

① 5月25日(土) 日本調剤駿河台薬局	9名
② 7月20日(日) オンライン(グリーフ企画)	5名
③ 8月2日(土) オンライン(学生進路企画)	4名
④ 8月2日(土) TSURUMI こどもホスピス	3名
⑤ 8月9日(土) 九州大学病院	2名
⑥ 8月23日(土) 近江町交流プラザ(北陸きょうだい会)	2名
⑦ 8月25日(月) 四条畷保健所	4名
⑧ 10月5日(日) 北御堂(ちょこっと縁日)	5名
⑨ 10月19日(日) ドーンセンター	4名
⑩ 12月7日(日) TSURUMI こどもホスピス	6名
⑪ 12月14日(日) オンライン(おかしコップをつくろう)	20名
⑫ 12月21日(日) 静岡県立こども病院(きょうだいカフェゲスト参加)	
⑬ 12月26日(金) 守口保健所	1名
⑭ 1月24日(土) Common Nexus(愛知こどもホスピス)	5名
⑮ 1月31日(土)～2月2日(土) そらぶちキッズキャンプ	7名
⑯ 2月15日(日) 西部特別支援学校(ミントモゲスト参加)	
⑰ 2月21日(土) 山梨県立図書館(星つむぎの村ゲスト参加)	
⑱ 2月23日(月) オンライン(グリーフ企画)	4名
⑲ 3月1日(日) ドーンセンター	5名
㉑ 3月15日(金) くまびあ(NPOにじいろ)	5名
㉒ 3月29日(日) 日本調剤大阪福島薬局	7名
◎ オンライン企画「シブレットのへやのとびら あけておくね」	
毎週金曜日	各回3～10名

【対象者】 病気をもつ子どものきょうだい

【収 益】 なし

【費 用】 842,271円(給料手当 240,000円、法定福利費 44,423円、印刷製本費 1,450円
旅費交通費 104,290円、通信運搬費 161,772円、消耗品費 186,141円
賃借料 100,295円、保険料 3,900円)

(2) 面会中の親を病院の廊下で待つきょうだいと過ごす活動

- 【内 容】 親が入院中の子どもの面会に行く際、感染の問題から病棟に入ることができず、廊下で待っているきょうだいと、おもちゃなどであそんですごした。また、活動がない時でも持ち帰れるようメダル等を作成、設置した。
- 【実施場所】 大阪市立総合医療センター7階廊下
- 【実施時期】 毎月1回目、3回目の水曜日 18時～20時
- 【対 象 者】 病院に入院している子どものきょうだい
- 【収 益】 なし
- 【費 用】 197,724 円（給料手当 120,000 円、法定福利費 44,423 円、旅費交通費 1,100 円
消耗品費 32,201 円）

(3) きょうだいサポート冊子の作成・配布

- 【内 容】 きょうだいと大人とで読んだり書き込んだりできる小冊子「きょうだいさんのための本」、病気のきょうだいを亡くした子ども向けの「きょうだいさんのための本②」を配布。今年度は増刷を見送り、累計発行部数はそれぞれ52,000部、40,000部の計92,000部となっているが、来年度は増刷予定。
- 【実施場所】 事務局より発送
- 【実施時期】 随時
- 【対 象 者】 きょうだい、きょうだいに関わる人
- 【収 益】 なし
- 【費 用】 179,604 円（給料手当 120,000 円、法定福利費 44,423 円、通信運搬費 15,181 円）

(4) TSURUMI こどもホスピス連携事業

- 【内 容】 日本初の地域型子どもホスピスである「TSURUMI こどもホスピス」の週1回のケア会議に出席し、活動で得てきた知見を共有。協働でのグリーフイベント、保護者さん向け交流会もそれぞれ1回ずつ実施した。
- 【実施場所】 TSURUMI こどもホスピス
- 【実施時期】 毎週水曜日 ケア会議
8月10日（日）グリーフきょうだいさんの日
3月9日（月）保護者交流会
その他、必要に応じ随時訪問
- 【対 象 者】 きょうだい、きょうだいに関わる人
- 【収 益】 2,160,000 円
- 【費 用】 2,236,455 円（給料手当 1,800,000 円、法定福利費 233,439 円、諸謝金 60,000 円
旅費交通費 101,080 円、通信運搬費 1,936 円、消耗品費 40,000 円）

2. 啓発事業

(1) 講師派遣、寄稿等事業

- 【内 容】 きょうだいの現状及び支援の必要性を広く訴えるため、要請に応じて講師の派遣や各種発行物への寄稿、各種メディアの取材対応を行った。

【実施時期・場所】

・講演

- ① 4月8日(火) アクセンチュア株式会社 従業員向けオンライン講演会
- ② 5月10日(土) タラ夢 私たちにできることを考えよう企画
- ③ 5月14日(水) 「うりずんの風に吹かれて」出版記念オンラインセミナー
- ④ 5月17日(土) 大阪総合保育大学 特別支援教育集中講義
- ⑤ 5月20日(火) 早稲田大学 緩和医療学・臨床死生学・生命倫理学ゼミ
- ⑥ 6月21日(土) アラジール症候群「研究会」
- ⑦ 6月26日(木) 立正大学 障害者福祉論
- ⑧ 7月4日(金) 長浜市社会福祉協議会 ほのぼのかけはし研修会
- ⑨ 7月26日(土) 大阪発達総合療育センター わくわくハッピーワークショップ
- ⑩ 9月11日(木) 横浜こどもホスピス小児緩和ケアネットワークカンファレンス
- ⑪ 9月13日(土) 日本小児在宅医学会 シンポジウム
- ⑫ 9月15日(月) 近畿小児血液がん研究会看護部門 講演会
- ⑬ 10月9日(木) 茨城県医療的ケア児コーディネーター研修
- ⑭ 10月14日(火) 武蔵野大学社会福祉学科 オンライン実習
- ⑮ 10月25日(土) ハンデっ子保護者グループ アフォガード 講演会
- ⑯ 10月30日(木) 滋賀県知的障害児者生活サポート協会研修事業
- ⑰ 11月1日(土) しずく訪問看護ステーション 勉強会
- ⑱ 11月15日(土) ソルウェイズ 社員勉強会
- ⑲ 11月22日(土) ポケットサポート NPO 設立10周年記念フォーラム
- ⑳ 11月27日(木) 立正大学 ソーシャルワーク総論
- ㉑ 12月13日(土) 愛知こどもホスピス ボランティア研修会・交流会
- ㉒ 12月25日(木) 特別支援教育をカラフルに考える会
- ㉓ 1月13日(火) 堺支援学校 PTA 保護者学習会
- ㉔ 1月29日(木) 関西国際大学 病弱児の心理・生理・病理
- ㉕ 2月11日(水) 長野県 小慢児童等自立支援事業従事者研修
- ㉖ 3月6日(金) 日本小児遺伝学会 シンポジウム
- ㉗ 3月14日(土) NPO にじいろ きょうだい支援講演会
- ㉘ 3月16日(月) 北海道大学病院 小児緩和ケア KiC Web 勉強会
- ㉙ 3月27日(金) わしおこども医院 スタッフ勉強会
- ㉚ 3月28日(土) ハチドリ電力 活動報告会

・寄稿、出演など

- ① 中央法規出版「病気や障がいのある兄弟姉妹がいる子どもが思っていること」
- ② 診断と治療社「チャイルドヘルス」6月号
- ③ 東京小児科医会報 138号
- ④ 9月14日(日) ラジオ関西 清水健のボイスブリッジ
- ⑤ 10月15日(水) JICA ニュースレター
- ⑥ かもがわ出版「13歳からの家族の研究」
- ⑦ 2月12日(木) FM FUJI「Bumpy」

- ⑧ 2月20日（金）山梨日日新聞コピット（シブサポ告知）
- ⑨ 3月5日（木）山梨日日新聞コピット（シブサポ報告）
- ⑩ 3月7日（土）毎日新聞（小児がん征圧募金贈呈式）
- ⑪ 3月17日（火）FMクマガヤ「地域に広がれ子育てのわ！」

・ブース出展等

- ① 4月5日（土）阪急百貨店 H2O サンタ チャリティトーク
- ② 4月11日（金）イオンイエローレシートキャンペーン贈呈式
- ③ 5月11日（日）小児病棟わくわく応援団 都立小児に大集合！
- ④ 6月14日（土）～15（日）日本小児精神神経学会 協会ブース参加
- ⑤ 6月29日（日）「うりずんの風に吹かれて」出版記念セミナー
- ⑥ 8月6日（水）～8日（金）H2O サンタ NPO フェスティバル
- ⑦ 8月23日（土）～24日（日）ハミング・オアシス
- ⑧ 8月30日（土）～31日（日）日本外来小児科学会ブース出展
- ⑨ 9月13日（土）～14日（日）日本小児在宅医学会 協会ブース参加
- ⑩ 9月19日（金）～21日（日）小児心身医学会 協会ブース参加
- ⑪ 11月8日（金）～9日（日）ワクワクつながる祭典 2025 in 秋田
- ⑫ 11月11日（火）イオンイエローレシートキャンペーン店頭 PR
- ⑬ 11月16日（日）ワクワクつながるこどもフェスタ
- ⑭ 11月25日（火）大阪ガスネットワーク クリスマスカード工場
- ⑮ 2月19日（木）タケダ・ウェルビーイング・プログラム全体交流会
- ⑯ 2月24日（火）阪急阪神百貨店労働組合 シブリングデーあめ封入作業
- ⑰ 2月25日（水）三井住友信託銀行 メダル作成プロジェクト
- ⑱ 2月26日（木）Daigas グループカフェテリプラン社会貢献クラブ 寄贈式
- ⑲ 3月7日（土）ワクワクつながる祭典 2026
- ⑳ 3月20日（金）ふくいこどもホスピス 親子のためのにじいろフェス

【対象者】	保健所、患者会、学校、病院、支援団体など
【収益】	1,029,738 円（講師料等）
【費用】	894,899 円（給料手当 570,000 円、法定福利費 45,965 円、旅費交通費 221,842 円 通信運搬費 15,200 円、消耗品費 29,892 円、広告宣伝費 12,000 円）

（2）シブリングサポーター養成事業

【内容】	きょうだいの現状及び支援の必要性を理解し、必要なスキルを習得した人材を育成するため、テキストを用意して研修を行い、修了者を「シブリングサポーター」に認定。次なるステップとして、大人になったきょうだいの声を聴く会「シブパネル」も開催した。さらに、修了者を対象にした「シブリングサポーターミーティング」を開き、サポーター同士の情報交換や意識の共有を図りつつ互いに励まし合い、一緒にきょうだいを応援する仲間が存在を確認できる場を設けるとともに、より気軽につながれる「きょうだい支援ゆるゆるカフェ」も5回実施した。
------	--

【実施時期・場所・参加人数】

・シブリングサポーター研修ワークショップ

① 6月11日（水）TSURUMI こどもホスピス	8名
② 7月6日（日）仙台市宮城野中央市民センター	14名
③ 7月12日（土）レンタルスペース「フォレスト」	28名
④ 9月27日（日）三重大学	45名
⑤ 10月12日（日）オンライン（福岡きょうだい会）	18名
⑥ 1月10日（土）ウィズあかし	21名
⑦ 1月11日（日）ゆずりは保育園	10名
⑧ 2月8日（日）武蔵野大学	39名
⑨ 2月21日（土）山梨県立図書館	31名
⑩ 3月8日（日）南町田グランベリーホール	20名
⑪ 3月14日（土）熊谷市男女共同参画推進センター	24名

・シブパネル

① 2月14日（土）聖隷クリストファー大学	18名
② 3月11日（水）TSURUMI こどもホスピス	12名

・シブリングサポーターミーティング

3月22日（日）オンライン	15名
---------------	-----

・きょうだい支援ゆるゆるカフェ（すべてオンライン）

① 5月17日（土）10名、② 7月27日（日）6名、③ 9月7日（日）7名	
④ 11月30日（日）8名、⑤ 1月25日（日）5名	

【対象者】	病院スタッフ、学生、きょうだい支援に関心のある一般市民
【収益】	690,000円（研修参加費）
【費用】	954,843円（給料手当 570,000円、法定福利費 45,965円、諸謝金 20,000円 印刷製本費 66,043円、会議費 6,080円、旅費交通費 91,680円 通信運搬費 18,592円、消耗品費 129,033円、賃借料 5,800円 保険料 1,650円）

（3）シブリングデー啓発キャンペーン

【内容】	きょうだいさん自身や応援する人たちにとって安心の記念日として広がること、一般社会にひとつの記念日として定着することの両輪を目的として取り組んだ。 きょうだいさんにはオリジナルのおかしを作成、全国の団体を通じて配布するとともに、応援メッセージの投稿を呼びかけた。一般社会に向けては、SNSによる発信や相互リポストを広くお願いし、Xでのトレンド入りを達成。当日だけでなく1年を通じて、講演やイベントで会う人におかしを配布して普及に努めた。来年度に向けても、同様の取り組みの準備を進めている。
------	--

【収益】	なし
【費用】	782,214円（給料手当 210,000円、法定福利費 44,423円、印刷製本費 100,930円 会議費 2,360円、旅費交通費 3,500円、通信運搬費 77,720円 消耗品費 332,841円、賃借料 10,440円）

Ⅳ 社員総会の開催状況

第9回通常総会

- 【日 時】 2025年6月22日（日） 11時30分から13時00分まで
- 【場 所】 大阪府中央区大手前1丁目3-49 ドーンセンター 小会議室
- 【社員総数】 11名
- 【出席者数】 11名（うち電磁的記録による表決者数2名）
- 【内 容】 第1号議案 2024年度事業報告書承認の件 審議の結果、全員一致で可決承認
第2号議案 2024年度決算承認の件 審議の結果、全員一致で可決承認
第3号議案 旅費支給規程改定承認の件 審議の結果、全員一致で可決承認

Ⅴ 理事会その他の役員会の開催状況

第9回理事会

- 【日 時】 2025年6月22日（日） 10時00分から11時30分まで
- 【場 所】 大阪府中央区大手前1丁目3-49 ドーンセンター 小会議室
- 【理事総数】 5名
- 【出席者数】 5名
- 【内 容】 第1号議案 2024年度事業報告書承認の件 審議の結果、全員一致で可決承認
第2号議案 2024年度決算承認の件 審議の結果、全員一致で可決承認
第3号議案 旅費支給規程改定承認の件 審議の結果、全員一致で可決承認
第4号議案 2025年度事業計画書承認の件 審議の結果、全員一致で可決承認
第5号議案 2025年度予算承認の件 審議の結果、全員一致で可決承認